



WEEKLY BULLETIN

2019年3月7日 (3311例会) (創立68周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3225



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになろう
2018～2019年度 パリー・ラシン RI会長テーマ

■呉RC 2018～2019年度テーマ 「感即動」

| | | | | | |
|-------|---------|-----|-----------|--------|-----------|
| 会 長 | 森 澤 大 司 | 幹 事 | 太 刀 掛 祐 之 | 会長エレクト | 志 々 田 幸 治 |
| 副 会 長 | 楠 孝 三 郎 | 会 計 | 向 井 淳 滋 | 会場監督 | 石 田 直 樹 |
| 直前会長 | 神 垣 和 典 | | | | |

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
 呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
 ☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30～13:30
 E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

呉ローターアクト委員会 担当例会

次週のメインプログラム

職業奉仕委員会 担当例会
大之木精二パストガバナー

第3310例会記録【2月28日(木)】

- 【プログラム】 ◇国際奉仕委員会担当例会
外部講師
「KENYAKU と国際奉仕」呉東ロータリークラブ 国際奉仕委員長 南 利次様
- 【出席率】 2/14の補正 休会 今回 81.25% (会員69名・欠席12名・免除5名)
- 【来客】 ◇外部講師 呉東ロータリークラブ 国際奉仕委員会委員長 南 利次様
◇三宅清嗣・堀口勝哉・大村一郎君の御同伴者
…株式会社 大之木ダイモ 代表取締役 大之木小兵衛様
- 【他クラブ出席者】 ◇岩本・奥原・多賀・松浦君 (2/20 呉 RAC) 向井君 (2/26 呉南) 神垣君 (2/26 D3350 BANGKOKSURIWONG RC) 6名
- 【欠席者】 ◇石田・稲葉・井上・岩本・宇都宮 (公)・大之木・奥原・島村・武田 (信)・武田 (正)・谷山・向井君 12名
- 【出席免除者】 ◇奥川・尾田・海生 (孝)・海生 (知)・武田 (保) 君 5名
- 【会長報告】 ◇退会式 番場真吾君…会長より記念品贈呈及び送別挨拶
- 【幹事報告】 ◇RI 第2710地区 地区戦略計画委員会 大之木精二委員長
…「こちら、地区戦略計画委員会です (レポート第7号)」(回覧)
◇広島西ロータリークラブ…例会変更のお知らせ。「広島西RC創立49周年記念夜間例会」の為、3/7(木)18:30～ANA クラウンプラザホテル広島 [同日変更] (回覧)
◇広島中央ロータリークラブ…例会変更のお知らせ。職場訪問例会のため、3/18(月)12:30～13:45「悠悠タウン江波看護小規模多機能サービス」へ変更。(回覧)
◇呉東ロータリークラブ…例会場所・例会時間変更のお知らせ。3/6(水)産業用ドローン実演の為、12:30～ニッキフック(株)へ変更。3/27(水)創立59周年記念家族例会の為、18:00～に変更 (回覧)
◇ロータリー米山記念奨学会…ハイライトよねやま vol.227
- 【委員会報告】 ◇中河原親睦活動委員長…春季家族例会のご案内 (配布)
◇神田健治広報・クラブ週報委員長…ペーパーレス化に向けてのアンケート (配布)

【S.A.A】

ニコニコ



- ◇南 利次さん (外部講師) …御礼
- ◇中河原圭司さん…2月9日に娘がとうとう入籍してしまいました。
- ◇志々田幸治さん…娘に次女が産まれました。千晴 (ちはる) だそうです。私にとっては4人目の孫です。正真正銘のお爺さんです。
- ◇番場 真吾さん…みなさまのお陰で呉は大変思い出深い地になりました。忙しい中送別会まで開いて頂き誠に有難うございました。
- ◇藤井 清実さん…呉市が西日本豪雨の復興・復旧財源に充てる為に募集した施設の命名権でコテージ梶ヶ浜をビルックスが「コテージ梶ヶ浜ビルックスライドステーション」と命名権を獲得致しました。企業のPRにもなりますが、西日本豪雨復興の役にたてる事が嬉しいです。
- ◇神垣 和典さん…9月のIMが成功し、これでガバナー補佐の仕事もほとんど終わって何とか役目を果たせましたと安堵しております。森沢会長、志々田実行委員長をはじめ、呉RCの皆様にはホストクラブとして大変お世話になりました。中でも谷山先生には、基調講演に東大病院の東條病院長をご紹介頂き、誠にありがとうございました。23～27日には、IMでも事例発表していただいた西条RCメンバーさんたちと、三泊五日の弾丸ツアーでタイ北部山岳民族への補助金支援事業「ナマズ養殖池」の完成式に行ってきました。日曜日で18人全員が出迎えてくれました。また機会がありましたら報告させていただきます。

◎ニコニコ基金累計金額 1,354,000円

立往生



武田保信

皆さん、「立往生」と聞いたら何を連想されますか？恐らく道路が渋滞して身動きができない状態が頭に浮かぶのではないかと思います。しかし、私共の時代の人間は（或いは私一人かもしれませんが…）まず浮かんで来るのは、戦場で矢弾をうけて立ったまま絶命するすごい人物の事です。永い平和の世を生きる皆さんは考えたこともないと思いますが、二千年を超える本邦有史以来（古代、源平の世から、先の大東亜戦争まで）仁王立ちのまま事切れた人は、わずか二人しか居りません。一人は文治五年（1189年）源頼朝を恐れ裏切った藤原泰衡の急襲に「もはやこれ迄」と衣川の館に火を放ち、自決する義経の時をかせぐ為に、天来の戦鬼の如く奮戦、全身に無数の矢を受け尚、しばし敵を寄せつけず立ったまま往生し、義経をして「弁慶、死して尚 我を守るか」と云わしめた武蔵坊弁慶です。

さて、もう一人は日支事変。昭和12年9月14日大陸の山西省閻山の戦闘で戦死された師団歩兵第11聯隊の杉本五郎中佐（戦死後昇進）です。この方は、安佐郡三篠町（現在の横川駅の少し北側）の生まれ、生粋の広島県人で、陸士卒業後11聯隊へ奉職。剣道は錬士（現在の六段位）の免状を持つ豪の人で、又、少年の頃より佛通寺へ通い、日ごろの厳しい鍛錬と禅を組む事により、武人として「尊皇精神」と「大義」と云うものについて、若くして相当な境地に達して居られたようである。但し、そのへんの解説は私如きでは荷が重過ぎるので省略させていただきます。

扱、昭和12年7月、日支事変発生。第5師団は第1次動員で8月始め宇品を出航。杉本五郎大尉は出陣前に少佐に進級して居たが、日頃鍛えた兵と共に在り度いと大尉の肩章のまま中隊長として出陣（兎も角、自身の榮達にはまったく関心が無い）。日本男児は大義に生きれば良いと云う思想ですから…。

部隊は万里の長城沿いに戦い乍ら山西省閻山を攻撃。この戦いは随分の苦戦だったらしく、隊長は常に陣頭に立って隊の進路を開きつつ進撃し、敵本陣へ突入しようと前進中、敵の手榴弾の一つが隊長の背後に落下爆発。隊長は一度はどっと地に倒られたが再び起き上がられ…立っては居られるが…然しどうした事か、今まで「突撃・突撃」と声をからして叫んでいた号令が聞こえない。当番兵等数名が敵弾の中を這い寄り隊長の足に手を当てて「隊長殿」と声をかけたものの、破片は左肩から心臓を貫き既に応えの無い人になって居られ…其の時、隊長は自慢の愛刀「関孫六」の剣の鞘で体を支え乍ら、少し

足は曲がっていたものの、概して直立して居られ、敵のいる方向とは違った東の方に向いて拳手の礼をされたらしいのですが、その手が少し下に垂れ、不動の姿で戦死されていたと云うことです。いわゆる「立往生」です。時に38歳 杉本中佐の話は呉RCの武田正視さんの卓話でも話された事もあり、故松田一男チャーターメンバー（松田修典会員・大矢宏典会員の御尊父）から頂いた「呉陽雑記」の中の軍医として従軍した陣中日記にも「9月15日、杉本少佐戦死す。昔、入営した時、隣の中隊長としてその高潔なる人柄は、聯隊中の衆望の的であった人物で、戦死と聞いて皆の胸を衝くものがあった…」と記されていることから、その人間性を伺い知ることが出来ます。

私は子供の頃、父から杉本五郎さんの話をよく聞かされたものです。と申しますのは、父が初年兵として昭和4年に入隊した時、杉本さんは中尉で大隊副官だったそうで、たまたま修道中学の先輩・後輩の間柄と云うこともあり、特別に厳しい訓練でかわいがって戴き、銃剣術では広島城の堀に何度も突き落とされ、又、休日に佛通寺に座禅に行かれる時「武田 馬引け」と云われ、恐らく八本松か本郷あたりで列車から馬に乗り換え、手綱を引いて佛通寺迄お供をしたことも幾度かあり、時折、馬上から「タケ！ワレのボロ時計は、今、何時ない！！」…なんちゅう人かいなと思いつつも 自分を含めて兵隊の間では「五郎さん 五郎さん」と云って尊敬と親しみを抱いていたと聞かされたものです。以来、私はこの年齢に達した今もこの方に畏敬と親しみを抱いております。

晩秋の紅葉の季節ともなれば、皆様方の中にも本郷の佛通寺へお参りに行かれる方も少なからず居られる事と思います。本殿参詣後、川下に下ると広場があり、川向こうの岸壁に「尊皇」と彫られた大巖が見えます。これは中佐の書によるものです。又、道筋の茶店の床几のすぐ傍に、中佐最後の戦いの直前に部下にあてた手紙に記した「汝、吾を見んと要せば尊皇に生きよ 尊皇精神ある處 常に我在り」の石碑が建って居ますが、甘味を食し乍ら関心を持って眺める人は、今や誰一人いません。今時「尊皇」とか「大義」と云っても時代錯誤かもしれませんが、胆力の必要な事業責任者として活躍する呉RCの皆さんには、参拝の際にはこの豪胆稀有な同県人の先達を少しでも偲んで戴けたらと思っております。